

目 次

会期日程	1
議決一覧	2
◇ 3月28日(月)	
出欠議員氏名	3
地方自治法第121条による出席者	4
開 会	5
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
議案の一括上程	6
議案質疑	9
討論・採決	20
閉 会	21

平成28年第2回嬉野市議会臨時会 会期日程表

会期1日間 3月28日

日次	月 日	開議時刻	区 分	日 程
第1日	3月28日(月)	午前10時	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の一括上程、議案質疑、討論・採決、閉会

平成28年第2回嬉野市議会臨時会議決一覽

議案番号	件名	議決日	議決結果
議案第45号	平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）	3月28日	原案可決
議案第46号	平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺 土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）	3月28日	原案可決

平成28年第2回嬉野市議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	平成28年3月28日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	平成28年3月28日 午前10時02分			議 長 田 口 好 秋	
	閉会	平成28年3月28日 午前10時55分			議 長 田 口 好 秋	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	生 田 健 児	出	10番	山 口 政 人	出
	2番	宮 崎 良 平	出	11番	芦 塚 典 子	出
	3番	川 内 聖 二	出	12番	大 島 恒 典	出
	4番	増 田 朝 子	出	13番	梶 原 睦 也	出
	5番	森 田 明 彦	出	14番	田 中 政 司	出
	6番	辻 浩 一	出	15番	織 田 菊 男	出
	7番	山 口 忠 孝	出	16番	西 村 信 夫	出
	8番	田 中 平 一 郎	出	17番	山 口 要	出
	9番	山 下 芳 郎	出	18番	田 口 好 秋	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	谷口 太一郎	健康づくり課長	
	副市長	中島 庸二	子育て支援課長	池田 秋弘
	教育長	杉崎 士郎	市民協働推進課長	
	総務企画部長	池田 英信	文化・スポーツ振興課長	宮崎 康弘
	市民福祉部長	田中 昌弘	福祉課長	田中 秀則
	産業建設部長	山口 健一郎	農林課長	
	教育部長	堤 一男	うれしの温泉観光課長	宮崎 康郎
	会計管理者 会計課長兼務	井上 親司	うれしの茶振興課長 農業委員会事務局長兼務	宮田 誠吾
	総務課長 選挙管理委員会事務局長兼務	辻 明弘	建設・新幹線課長	早瀬 宏範
	財政課長	中野 哲也	環境水道課長	
	企画政策課長	池田 幸一	教育総務課長	
	税務収納課長	諸井 和広	学校教育課長	池田 正昭
	市民課長	大島 洋二郎		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	納富 作男		

平成28年第2回嬉野市議会臨時会議事日程

平成28年3月28日（月）

本会議第1日目

午前10時 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）
- 日程第4 議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）
- 日程第5 議案質疑
- 議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）
- 議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）
- 日程第6 討論・採決
- 議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）
- 議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）

午前10時2分 開会

○議長（田口好秋君）

皆さんおはようございます。本日、嬉野市議会臨時会が招集されましたところ、お忙しい中、御参集くださいまして、御苦労さまでございます。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから平成28年第2回嬉野市議会臨時会を開会いたします。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に1番生田健児議員、2番宮崎良平議員、3番川内聖二議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、議会運営委員会において協議をいただきましたとおり、本日1日間としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は本日 1 日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承願います。

日程第 3. 議案第 45 号 平成 27 年度嬉野市一般会計補正予算（第 9 号）から日程第 4. 議案第 46 号 平成 27 年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第 4 号）を一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（谷口太一郎君）

皆様おはようございます。本日は年度末の大変お忙しい中でありましたが、臨時議会の開会につきまして御了解いただきまして、ありがとうございました。

それでは、ただいまから平成 28 年第 2 回臨時会提案理由について御説明申し上げます。

このたび嬉野市議会臨時会を招集し、補正予算の 2 議案について御審議をお願いすることになりましたので、その概要について御説明を申し上げます。

まず、議案第 45 号 平成 27 年度嬉野市一般会計補正予算（第 9 号）は、歳入歳出それぞれ 8,993 万 6,000 円を追加し、補正後の予算総額を 155 億 6,987 万 3,000 円とするものでございます。

内容は、総務費において、ふるさと応援寄附金の増額に伴い、その最終見込み額に合わせた所要の経費等及び国の補正予算により措置された交付金を財源とした総額 5,120 万円の地方創生加速化交付金事業費を計上しております。

なお、この地方創生加速化交付金事業につきましては翌年度への繰り越し事業としております。

また、民生費には、保育園運営に係る子ども・子育て支援新制度の各種加算算定の見込み増に伴う経費などを計上いたしております。

これらに要する財源といたしましては、国県支出金及び財政調整基金等を計上いたしております。

次に、議案第 46 号 平成 27 年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計補正予算（第 4 号）は、繰越明許費の金額を補正するものでございます。

以上、簡単ではございますが、議案の概要説明を終わらせていただきます。

詳細につきましては担当部長が御説明申し上げますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（田口好秋君）

これで提案理由の説明を終わります。

次に、提出された議案の細部説明を求めます。

議案第45号について説明を求めます。総務企画部長。

○総務企画部長（池田英信君）

皆さんおはようございます。私からは議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）につきまして御説明をいたします。

別冊の補正予算書をお願いいたします。

まず、歳入について御説明をいたします。

8ページをお願いします。

17款. 寄附金、2目. 総務費寄附金、1節. ふるさと応援寄附金の1,420万円の補正でございます。ふるさと応援寄附金の総額を10億円とするものでございます。

1月に開会されました第1回臨時会で9億8,580万円に補正をいたしましたけれども、寄附額が見込み以上に増加をいたしましたので、補正を行うものでございます。

歳出について御説明いたします。

10ページをお願いします。

2款. 総務費、6目. 企画費です。

8節. 報償費は、嬉野市に直接寄附の申し込みがあったものについてのお礼品の補正です。

13節. 委託料は、インターネットによる寄附金受納、お礼品の発送等、支援業務の委託料の補正になります。

25節. 積立金は、歳入で御説明をいたしましたふるさと応援寄附金の積立金1,420万円です。

次に、16目. 地方創生費です。総合戦略に基づいた事業に交付される地方創生加速化交付金5,120万円に係る事業でございます。

13節. 委託料は1,800万円ですが、観光地経営の視点に立った観光地づくりのかじ取り役と言われる、いわゆる地域DMO設立支援業務委託に1,200万円、ソーシャルネットワークサービスを利用した地域・観光等情報発信業務委託に600万円、次に、19節. 負担金、補助及び交付金として、まず広域連携事業として、2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合への負担金620万円、日本忍者協議会への負担金500万円、観光まちづくりと地域ブランドづくり推進事業補助金として4団体に補助金2,200万円を計上いたしております。

4ページをお願いいたします。

これら地方創生加速化交付金につきましては、市長からもありましたように、繰り越し事業となります。

戻りまして、11ページをお願いいたします。

3款. 民生費、1目. 児童福祉総務費です。

13節. 委託料は、市内保育所の施設型給付費として、療育支援加算など加算額が見込みより増額したため1,020万3,000円の増額、また、広域保育園の入所児童数が見込み数より減少したため354万6,000円を減額し、これらによりまして665万7,000円の増額補正を計上いたしております。

次に、歳入について御説明をいたします。

5ページをお願いいたします。

14款. 国庫支出金、1目. 民生費国庫負担金、保育所運営費の国庫負担金で332万8,000円、次に、7ページ、15款. 県支出金、1目. 民生費県負担金で、保育所運営費の県負担金で166万4,000円、国県合わせた額は499万2,000円となります。

戻りまして、6ページになります。

14款. 国庫支出金、1目の総務費国庫補助金、地方創生加速化交付金事業です。5,120万円となります。歳出のところで説明をいたしました総合戦略に基づく事業の交付金でございます。

9ページをお願いします。

18款. 繰入金、1目. 財政調整基金繰入金です。歳出のところで御説明をいたしましたふるさと応援寄附金に係る報償費、委託料の財源として1,787万9,000円、保育所運営に係る一般財源分として166万5,000円、合計の1,954万4,000円を繰り入れております。

私からの説明は以上でございます。

○議長（田口好秋君）

続きまして、議案第46号について説明を求めます。産業建設部長。

○産業建設部長（山口健一郎君）

それでは、議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）について御説明申し上げます。

13ページをお開きください。

第1表の繰越明許費補正でございます。

社会資本整備総合交付金事業の区画整理と都市再生整備がございます。その中で、12月に一度、明許繰り越しで承認を受けておりました。それが補正前の4,500万円と6,800万円でございます。補正後、6,500万円と8,400万円を補正に計上させていただきますが、その理由といたしまして、まず、1号排水路の工事を既に発注しております。その中で、都市再生のほうで調整池への流入、それと、区画整理の中では、都市下水路がございますが、そのつけかえ工事を今発注しております。

それで、お手元に図面があると思いますが、高架下を横断するようになっております。鉄道・運輸機構とは事務レベルでは協議がきちんとなされておりましたが、施工現場での協議が時間かかりまして、ちょっとおくれまして、年度内に出来高払いをする予定でしたけ

れども、それが施工が完了しないということで、今回、急遽補正をお願いするものでございます。

以上です。

○議長（田口好秋君）

これで議案の細部説明を終わります。

お諮りします。議案第45号から議案第46号につきましては、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第45号から議案第46号につきましては委員会付託を省略することに決定いたしました。

次に、日程第5．議案質疑を行います。

議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）の1ページから9ページまでの歳入について質疑を行います。質疑ありませんか。増田朝子議員。

○4番（増田朝子君）

まず、6ページの地方創生加速化交付金の分と4ページの繰越明許費補正について、一緒によろしいですか。

○議長（田口好秋君）

一度にですか。別々でもいいですよ。（発言する者あり）

○4番（増田朝子君）続

歳入が3回ということで、よろしいでしょうか。

○議長（田口好秋君）

はい。

○4番（増田朝子君）続

まず、この地方創生加速化交付金ということですが、今回、国の予算額が1,000億円、補助率が10分の10ということでありまして、この交付金の基本的な考え方が、希望を生み出す強い経済を実現するため、子育て支援や安心につながる社会保障も含め新3本の矢の取り組みに貢献するために創設するという基本的な考え方があると示されております。その中で、26年度補正予算の地域活性化ということで、地方創生先行型が26年度組み込まれておりましたけれども、今回、加速化交付金ということで、この繰越明許費補正で上がっています事業が選定とか国に提案されたと思うんですけれども、どうしてこの事業が選定されたのでしょうかということのお伺いが1点です。

お伺いしたいのは、いろいろ選択の幅があると思うんですけれども、ある自治体では、例えば、こういうのを公募されたりとか、いろいろアイデアとかを公募されての計画書が策定されているところもあると思うんですけれども、どうしてこの事業が選定されたのでしょうか

ということをまずお伺いしたいと思います。

また、これに対して市民に対しての公募というのはなされましたでしょうかということもまずお伺いします。

○議長（田口好秋君）

企画政策課長。

○企画政策課長（池田幸一君）

お答えをいたします。

今回の地方創生加速化交付金ですけれども、総合戦略に位置づけられました先駆性のある取り組みを円滑に進めるということで、この交付金が創設をされたところがございますけれども、嬉野市におきまして、その総合戦略にのせている事業の中で、採択されるについては先駆性が求められておりました。その中でも地域間連携ですね、この連携がキーワードとなっておりましたけれども、そういう採択できるものをある程度絞り込みまして、今回、この事業を申請したところがございます。

公募につきましては、今回についてはやっております。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

増田議員。

○4番（増田朝子君）

わかりました。

今、御答弁いただいた先駆性を有する事業の構築ということが支援対象に上げられておりますけれども、私が言いたかったのは、この選択された事業がだめだということじゃないんですけど、もっと門戸を広げてもよかったんじゃないかなということをお伝えしたかったわけです。

また、その中で、先駆性とありますけれども、基本的な考え方で、各事業ごとにふさわしい具体的なKPI、重要業績評価指標とかを設定し、PDCAサイクルの整備が必要であるとあります。そして、特に事業終了後に外部有識者や議会の関与等も含め、効果検証を行い、その結果について公表するとともに、国への報告を行うとありますけれども、その準備とか、そういうのは具体的にされていらっしゃいますでしょうか。

○議長（田口好秋君）

企画政策課長。

○企画政策課長（池田幸一君）

お答えをいたします。

地方版総合戦略を策定する際に、当然ながらKPI、それから、PDCAサイクルを回すということが求められておりましたので、これは日本全国どの自治体も同じような形で

K P I も P D C A サイクルも回していくようにしております。

今回の事業に関しましても当然ながら、先ほど答弁しましたように、総合戦略に基づいた位置づけられた事業でございますので、K P I の設定、それから P D C A サイクル、この分につきましてもやっていくようにしております。外部有識者とか議会の関与等につきましても、総合戦略の委員さんにこの分については説明をいたしますし、議会のほうにも御報告していくようにしております。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

増田議員。

○4番（増田朝子君）

では、最後に確認ですけれども、市民の方に対しても公表していただくということで認識してよろしいでしょうか。

○議長（田口好秋君）

企画政策課長。

○企画政策課長（池田幸一君）

お答えをいたします。

当然ながら市民の方に対しても公表をする予定でございます。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がないようですので、これで1ページから9ページまでの歳入についての質疑を終わります。

次に、10ページから11ページまでの歳出について質疑を行います。質疑ありませんか。山下芳郎議員。

○9番（山下芳郎君）

10ページですけれども、16款の地方創生費であります。節ごとに3回までということでもありますので、通しでお聞きしますけれども、まず、13節. 委託料、19節. 負担金、補助及び交付金ですけれども、それぞれ説明があります。この分の決められた経緯と申しましょか、内容についてお聞きします。

また、それに続く事業ですね、どのような事業なのか、確認をいたします。

○議長（田口好秋君）

企画政策課長。

○企画政策課長（池田幸一君）

お答えをいたします。

この事業を決めた経緯ということでございますけれども、今回、地方創生加速化交付金、それから、28年度の地方創生推進交付金、いわゆる新型交付金ですけれども、この地方創生に絡む予算につきまして、関係課、庁内で検討会を設けまして、どういう事業にこの交付金を使おうかということで検討をいたしました。その結果、今回、補正を計上しているこの事業を地方創生加速化交付金に申請をしようじゃないかということで、この事業を予算として計上しております。

経緯については以上でございます。

○議長（田口好秋君）

山下議員。

○9番（山下芳郎君）

じゃ、13節の委託料ですけれども、観光地としての観光まちづくりと地域ブランドづくり推進事業としてありますけれども、この推進事業を決められる中で、具体的にどういった形で進めていかれるのか、お聞きします。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

主要な事業の説明書の2ページの中に御説明をちょっとしておりますけれども、まず、委託料につきましては、地域DMO設立支援業務ということで1,200万円、あと、地域・観光等情報発信業務ということで600万円計上しております。地域DMO設立につきましては、要するに観光の核となる組織を設立するという目的で計上しております。あと、地域・観光等情報発信業務ということで、これは28年度の当初予算にも計上しておりますけれども、先行型で採択というか、事業を始めています観光等の一元化事業をこの中でも推進していくという事業でございます。

以上です。

○議長（田口好秋君）

山下議員。

○9番（山下芳郎君）

じゃ、19節のほうに入りますけれども、3つの項目がありますけれども、それぞれの事業内容を説明をお願いします。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

この事業につきましては、地域資源魅力アップ促進事業費補助金ということで2,200万円計上しておりますけれども、先行型の交付金事業の継続的な事業も絡めた事業と、あと、28年度に廃止されました緊急雇用事業をカバーする事業ということで、要するに総合戦略の中にならうたっております事業をこの中で実施していくという事業でございます。各地域の産業団体への補助ということで考えておまして、まず、嬉野温泉旅館組合とか嬉野温泉商店街組合、あと、肥前吉田焼窯元組合、九州忍者保存協会等への補助金ということで考えております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。山口忠孝議員。

○7番（山口忠孝君）

今の同じところの質問になります。10ページですね。それで、主要な事業の説明書の2ページになりますけど、今の課長の答弁を聞いておられますと、補助金ですよ。そしたら、これまでの28年度当初予算で計上されておりました事業の予算をこの補助金で差しかえと言うとおかしいですけど、言葉はどういうふうに言っていないかわかりませんが、一般会計じゃなくて、こういう補助金を使って事業をやるということね。名目としては地方創生加速化交付金という事業なんですけど、実質は補助金を充てると。新しく事業を起こすんじゃなくて、ある事業にその補助金を充てるということで理解してよろしいんですかね。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

先ほども申し上げましたように、先行型の交付金事業と、あと、28年度に廃止されました緊急雇用事業の代替といえますか、事業を進めてきたことの継続的な事業をこの地方創生加速化交付金を利用して事業を継続的に進めていくという事業でございます。

以上です。

○議長（田口好秋君）

山口忠孝議員。

○7番（山口忠孝君）

それともう1つ、大体わかったような気はしますが、次の忍者のマーケティング・セールス推進事業、2020東京オリ・パラ首長連合新虎通り活用事業、この内容を見ておられますと、2点とも負担金であり、結局、国から交付金をいただいて、その分、そっくりそのまま負担金として出しているということは、何か地元で地方創生と——それはいろんな形は違いで

しょうけど、もう少しその辺のところを地元で資金として生かせるような、ほかのところに使えなかったのかという感じがするんですけど、その辺のところはどのように考えたらよろしいんですかね。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

日本忍者協議会への負担金ということでございますけれども、現在、日本忍者協議会に5県5市、そして、1つの伊賀上野観光協会が加入しております。広域連携という形で、今回、地方創生加速化交付金を申請しまして、日本忍者協議会を通じて各地域の連携を図って、忍者を利用しながらインバウンド対策ということで観光客の増加を推進していくということの事業でございます。各県が2,000万円、あと、各市が500万円を拠出という形で負担金を負担して、日本忍者協議会の中で事業を展開していく。それは地域とも連携しながらの事業でございますので、協議会の中に負担金を入れて、うちもともに事業をしていくということで御理解いただきたいと思いますけれども。

○議長（田口好秋君）

山口忠孝議員。

○7番（山口忠孝君）

私の中では、協議会というのは大きい組織で、各関係自治体がやっつけらるるので、地元の自主性というかな、そういうものがどこまで発揮できるかというのは私もちよっと疑問に思うんですけど、それはそれとして、次の2020東京オリ・パラの新虎通りというところにそういうあれをどうしてそのお金で、地元のほうに何かするならわかるんですけど、東京のほうにそういう——これはアンテナショップみたいな形なんでしょうけど、そういうことが本当に地方創生につながるのかなと。補助金をもらって、こちらのほうを向こうでつくるわけでしょう。その辺のところはどのように考えたらいいんですか。私はこれにはちよっと合点がいかないんですけどね。

○議長（田口好秋君）

文化・スポーツ振興課長。

○文化・スポーツ振興課長（宮崎康弘君）

お答えいたします。

2020東京オリ・パラ首長連合新虎通り活用事業ということで、今回、補正を組ませていただいております。負担金を払うメリットについては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合に参加するメリットを最大限に生かすためには、今回、このような他自治体との連携をして補助事業申請などの取り組みを行ったところでご

ざいます。新たな事業の構築に今後努められるものと考えております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。増田議員。

○4番（増田朝子君）

同じく地方創生加速化交付金の観光まちづくりと地域ブランドづくり推進事業、説明書の2ページでお伺いします。

こちらにあります2番目、事業内容の中の1. 地域DMO設立支援業務とありますけれども、このDMO設立の構成メンバーとかは予定をされていらっしゃると思うんですけれども、その構成メンバーの方をお伺いしたいのと、あと、これらの事業が、その他参考となる事項の中で、3番、先ほども答弁でありましたけれども、各地域資源を担っている団体等の「稼ぐ力」とありますけれども、この事業自体を本当に稼ぐ力を引き出していただこうという思いでされていらっしゃると思うのでよろしいのでしょうか。稼ぐ力ですよ、そこを本当に思っているんですけれども。

あと、先ほどから申しましたように、せつかくの10分の10、国からの交付金なんですけれども、先ほど申しました支援対象の中の事業分野では、仕事創生、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくりという分野がある中で、観光振興に集中した交付金になっているんですけれども、そこで本当に行政としてはここに力を入れていきたいというのはわかるんですけれども、その本気度を担当課長にお伺いしたいと思います。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

「稼ぐ力」を引き出す魅力アッププロジェクトということで、現在、商店街の活性化とか、あと、情報の一元化とかいうのを実施しながら、観光客の誘致、あるいは交流人口の増加を進めていこうということで現在進めています。さらに、この地方創生加速化を利用して各関係団体の方に補助金を交付して、活力ある商店街、あるいは肥前吉田焼の販路拡大とか、あと、忍者を利用した誘客インバウンドとか、そういうことを各団体とともに、うちと連携して進めていこうということでやっております。

本気度と言われますけれども、ずっと今、昨年度からいろんな補助金とか活用しつつやっておりますので、これをオリ・パラとか、新幹線が来る前に魅力ある嬉野市にするために、実際本気を出して頑張っております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

増田議員。

○4番（増田朝子君）

では、今、担当課長の本気度をお伺いしましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、あとK P I、先ほど言ひていました成果目標ですけれども、その各事業の成果目標というのを資料として提出していただきたいんですけれども、よろしいでしょうか。

○議長（田口好秋君）

企画政策課長。

○企画政策課長（池田幸一君）

お答えいたします。

K P Iにつきましては資料で後ほどお示ししたいと思ひます。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

増田議員。

○4番（増田朝子君）

では、これらの事業が26年度に先行型でされていらっしゃる、今まで事業として継続されていらっしゃるわけなんですけれども、そこについての今までの成果としてはどう担当課として評価されていらっしゃるんでしょうか。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

先ほども申しましたように、商店街の活性化、例えば、交流センターのリニューアルオープンとかウェブサイトの開設とか、いろんな形で成果を上げていると思ひます。それは後だったのK P Iということになりますので、現在のところ順調に進んでいるものと感じております。

あと、観光一元化の構築のほうも2年間かけてやっておりますので、まだ1年目ということで、あと、28年度で2年間で構築したいということになっておりますので、それも順調に進んでいるというふうに認識しております。

あと、先ほど議員がおっしゃったDMOの構成メンバーということで質問がありましたけれども、とりあえず現時点で事業主体としては観光協会を想定しております。その中にいろんな関係団体を巻き込んでというか、協力、連携しつつ、DMOを構築していきたいと考えております。

以上です。（「関係団体とかは」と呼ぶ者あり）

例えば、旅館組合、あるいは商工会、先ほど言ひました窯元組合とか、いろいろな産業の

各関係団体を想定しております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかに質疑ありませんか。芦塚議員。

○11番（芦塚典子君）

3点ぐらいお尋ねいたします。同じ質問です。地方創生加速化交付金についてお尋ねいたします。

1つは、地域DMOに1,800万円、それと地域資源魅力アップ促進事業に2,200万円投入することになっておりますけど、嬉野市のDMOの目標はどのような観光にしようかと位置づけられているのか、それを1つ。

それと、地域資源魅力アップ促進事業費を4つ選定してありますけど、これもどのような観点で、どのような目標を持ってこの4つを選定されたのか、それをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

まず、DMOにつきましては、要するに観光の核となるという、これからDMOを組織して、強力な連携をとりながら観光を利用して嬉野市を盛り上げていくというか、活性化させていくということで、まず最初に組織化が大事ですので、そのところをステップ1ということで、きちっとした組織をつくっていきたいということを考えております。

あと、地域資源魅力アップ促進事業ということで4つの関係団体に補助金を交付するわけですが、一つ一つ申しますと、嬉野温泉旅館組合につきましては、現在進めておりますが、ふるるん温泉をさらに魅力アップして観光客の増加に努めていきたいというふうに思っております。

あと、嬉野温泉商店街組合につきましても、先ほどお話ししましたように、既に活性化に向けて活動しておりますので、それをさらに加速化し、交付金を利用して推進していきたいと思っております。

あと、肥前吉田焼窯元組合につきましては、数年前から販路拡大とかブランディングの促進に努めておりますので、これもこの交付金を利用して、さらに魅力ある吉田焼をブランディングしていきたいというふうに思っております。

あと、九州忍者保存協会への補助金としましては、九州忍者保存協会と商店街、先日も忍者フェスタというのを行いましたけれども、これをさらに28年度も行って、インバウンドと、あと国内外の誘客に努めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

芦塚議員。

○11番（芦塚典子君）

わかりました。

質問をさせていただきます。

1、DMOについてなんですけど、私が6年前、一般質問をした経緯があります。そのときは全くなかったんですけど、何でそういう質問をしたかという、ある県で、これはDMOを3年計画でなさっていました。そして、県主催でした。県全体で地域とつながらなければいけないので、1年ではだめなんです。3年計画でDMOを推進されておりました。これは1年計画じゃなくて3年計画が、中期計画が要るんじゃないかと。地域の人を巻き込んで勉強会をして、そして、一番最後に各地から観光業者を呼ぶというところまでなさっていましたので、これは中期計画がいいんじゃないかという感じがします。それが1つです。

そして、次が地域資源魅力アップ促進事業ですね。これは確かに温泉と焼き物、それからイベントに力を入れようということでもなさっておりますけど、この計画は、ほとんど市の西部地区だけです。嬉野市は市全体の温泉、あるいは観光情報発信計画、あるいは観光資源があるので、市の東部に国の選定された地区があります。県遺産があります。これをどうして利用しないのでしょうかと私は思います。先日も伝建地区を2カ所回りました。そこは年間60万人です。ほぼ1万円は使いましたので、年間60億円、1,000円でも6億円ですね。どうして県遺産、国の選定された地区、福島に行っても嬉野に行きたいと、伝建地区に行きたいと言われました。全国的に周知があるんです。これをどうして生かさないかと思います。どうして市の西部だけの観光事業をこのように取り入れたのか。市全体の観光浮揚策としてこの魅力アップ促進事業をなさらなかったのかという点をちょっとお聞きいたします。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

地域計画が必要ではないかということです。

実は私も日本版DMOのシンポジウムに参加させていただいたときに、確かに一朝一夕にできるものではないということを講師の方がおっしゃいました。その中でも、日本版地域DMOになるには条件が必要ということで、法人登録がまず必要だと。あと、DMOの形成に関する計画を策定しなければならないというのも含まれていますので、それは議員がおっしゃるように計画書を策定しなければいけませんので、計画は立ててまいる予定です。

あと、市の伝建地区を活用しなかったのかというお話ですね。

まず、この採択の中身で、うちの地域資源には伝建地区もございすけれども、その中で、嬉野温泉商店街組合に空き店舗活用を促進するという事業と、あと、オープンシャッター企

画等というのがございます。伝建地区も商店街の全体の中の一つだということで捉えておりますので、伝建地区だけをというのではなくて、それを含めたところの商店街の活性化に向けて行う事業ということで、伝建地区もそれを利用して活性化していきたいと思っております。

以上です。

○議長（田口好秋君）

芦塚議員、議案書に基づいた質問をしてください。一般質問にならないように。

○11番（芦塚典子君）

この1,800万円が次につながるように、計画、これがやっぱり全市の経済浮揚になるように、これを利用していただきたいと思います。

それと、魅力アップ促進事業なんですけど、きのう県知事が市にお見えになって、ちょっとおっしゃったことには、鹿島の伝建地区は、きのうの酒蔵まつりで7万人を今年度は14万人にしようという意気込みがあったということをおっしゃいました。酒蔵まつりをやっとするようになってよかったと思うんです。ただ、もっと自分のまちに、自分の市に目をつけなさいというようなことを言われました。資源がせつかくあるので、このような企画をなさるのはいいんですけど、一番うちのネックは、交通費、それとお土産がない。宿泊費は県下で2番です。ただ、交通費とお土産がないと。そういうものに目を向けられなかったかなというのがありまして、ここの魅力アップ促進事業に商店街というか、温泉を取り組むというのがありますけど、宿泊費並びに県下を回る周遊的な交通費、そういう政策は入れられなかったのかというのをちょっとお尋ねします。

○議長（田口好秋君）

うれしの温泉観光課長。

○うれしの温泉観光課長（宮崎康郎君）

お答えいたします。

各地域を周遊する交通費というのは、この中では想定しておりません。

以上です。

○議長（田口好秋君）

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がありませんので、質疑なしと認めます。これで10ページから11ページまでの歳出についての質疑を終わります。

これで議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）について質疑を終わります。

次に、議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業

費特別会計補正予算（第4号）について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。

これで議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）についての質疑を終わります。

日程第6. 討論・採決を行います。

議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第45号について採決します。

議案第45号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。投票をお願いします。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、議案第45号 平成27年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）については可決されました。

次に、議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）について討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第46号について採決します。

議案第46号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。投票をお願いします。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、議案第46号 平成27年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第4号）については可決されました。

以上で本臨時会に提出された全ての日程が終了いたしました。

お諮りします。ただいままでに可決決定されました各議題について、字句、条項その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、字句その他の整理は議長に委任することに決定いたしました。

会議を閉じます。

平成28年第2回嬉野市議会臨時会を閉会いたします。どうも御苦労さまでございました。

午前10時55分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 田 口 好 秋

署名議員 生 田 健 児

署名議員 宮 崎 良 平

署名議員 川 内 聖 二